

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 80 号 2020 年冬号

<http://nadogaya-biotope.com/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415

第 18 回定期総会開催



1月25日(土)に、名戸ヶ谷ふるさとセンターにて第18回定期総会が行われました。

<第一部> 藤平副会長の司会により、小笠原会長の挨拶で昨年の台風で2度もはざ掛けが倒れたことや、ニホンアカガエルが過去最高の卵塊数が発生したこと、ホタルの飛翔が見られたこと、会員であった高田氏や影山氏の奥様の逝去されたこと、ビオトープの諸問題に取り組む活動を続けたい等の報告がありました。続いて、柏市環境政策課の森山氏に挨拶をいただいたのち、小笠原議長を選出し、議案審議に入りました。

議案については、会長、生き物保全及び調査（藤平副会長）、植物保全（山村幹事）、広報活動（小笠原会長）、佐藤幹事による会計の決算報告と予算の提案、篠崎監事による監査

報告があり承認されました。

<第二部> 11時～12時は本会の会員でもある小川幸夫氏による「現代農業のよもやま話」と題して講演していただきました。

小川氏は南増尾在住で小川農園を営んでおり、ニホンアカガエルに興味を持ち、4年前から会員になり、ビオトープでのニホンアカガエルの産卵数を詳細に調査しています。

なぜ名戸ヶ谷ビオトープに多く発生しているのか、について貴重な講演をしていただきました。また、小川氏の著書「虫といっしょに家庭菜園」の書籍も紹介されました。

講演の終了後12時過ぎより懇親会で昼食弁当を取りながら、会員同士和やかに歓談し、午後1時半頃に全て終了しました。

（園田 廣満）

ビオトープの植物 ～花も葉も美しい～



オオイヌノフグリ



オオジシバリ



タネツケバナ



カラスノエンドウ

ビオトープの春の鳥 ～キジ～



日本国内では北海道と対馬でコウライキジが、その他の地域ではニホンキジが観察されています。ビオトープで観察されるニホンキジは、平地から山地の草原、農耕地等に住む留鳥です。繁殖期には、1羽のオスが2羽以上のメスを連れています。秋冬にはそれぞれ別の群れをつくっていることが多いです。繁殖期にオスは土塊や倒木の上にとまって鳴き羽ばたきをします。地上で草の種子や芽、昆虫等を取り、危険を感じると近くの藪等に隠れます。

(篠崎 将)

ニホンアカガエル卵塊の観察会

2月2日(日)から2月22日(土)まで4回に渡り観察会を行いました。暖冬で例年より2週間も早まりました。1回目は家族会員を含め9名で、小笠原会長が畔の修復中に冬眠中のアカガエル成体を発見、総個数は75個でした。2回目が最高の102個となり、3回目から多くの卵塊が崩れて孵化が始まり小さなオタマが群れて泳いでいました。3回目の特筆は、うるち田 No7 が34個と一気に増加です。これから後半になり出てくるヒキガエル卵塊はまだ確認されません。今年も無事に成体となって生き残って欲しいです。

2月19日から中央木道工事が始まり月末終了予定で、アカガエル卵塊を一部移動させました。(藤平 三郎)



ニホンアカガエルの卵塊数推移

年	月日	天気	気温	合計	Aゾーン	Bゾーン
2020	2月2日	晴れ	8°C	75	68	7
	2月8日	晴れ	7°C	102	87	15
	2月15日	曇り	13°C	99	85	14
	2月22日	曇り	13°C	65	59	6
2019	3月2日	晴れ	12°C	166	137	29
	2月23日	晴れ	13°C	231	188	43
	2月16日	晴れ	11°C	68	56	12
2018	3月10日	曇り	11°C	128	112	16
	3月4日	晴れ	17°C	110	79	31
	2月24日	晴れ	11°C	55	29	26
	2月17日	晴れ	8°C	40	22	18



卵塊



冬眠中のアカガエル、ごめんね!



小さなオタマジャクシ

作業小屋周りの樹木が伐採されました

木村さんから借用している倉庫横の樹木が市役所依頼の業者によって伐採されました。すっきりしましたが、ちょっと寂しくなりました。(雨樋に枯葉やどんぐりが詰まらなくなるので清掃作業はなくなりそうです)

(小笠原 智)



伐採後

伐採前

ビオトープの整備を行っています

看護師寮前のヤナギを剪定しました

昨年の台風で折れた枝や伸びすぎた枝を切り落としました



水路の整備を行っています

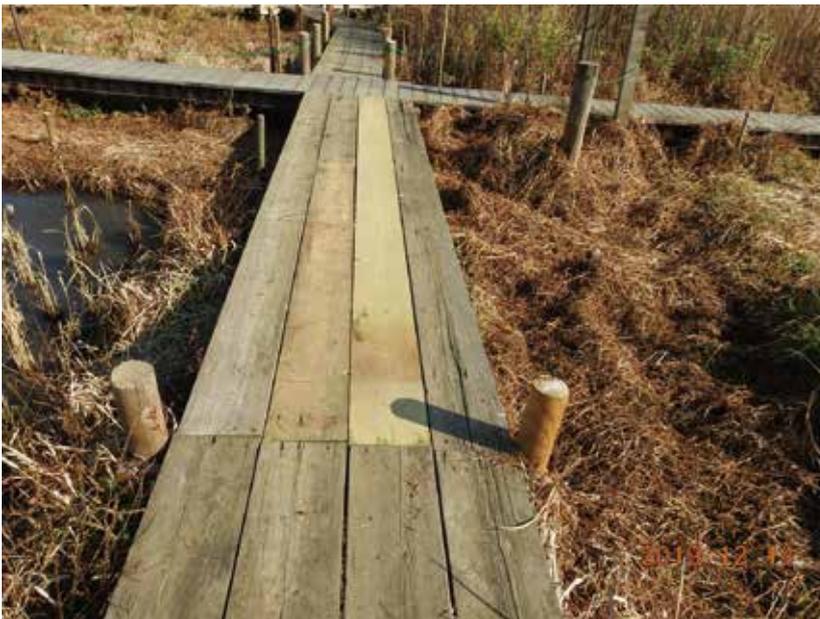
ホタル水路からうるち田への水路を廃材の踏板で作成しました

ポンプ置き場小屋を作りました



小屋の中には井戸ポンプと制御装置が入っていますが屋根や壁が壊れたので作り直しました。

木道の整備と各池の底浚いも行っています



この春更新する中央木道ですが
踏板を張り替えました
(穴が開いて危険な為)



じゅずだま池の底を浚いました
(三角池や湧水池も行っています)

月例活動状況のお知らせ

12月21日(土)

会員8名の参加のもと木村邸前の斜面に生息しているセイタカアワダチソウの刈り取りや鈴木邸前の除草作業や作業場横の除草作業を実施しました。ホタルゾーン木道脇の草取りも実施しました。終了後は皆でしめ縄作り体験を行いました。



左 セイタカアワダチソウ刈り取り
中 ホタルゾーンの水路整備風景
右 しめ縄作り体験

1月19日(日)

定例作業日は雨のため日曜日に延期し7名の参加のもと、ニホンアカガエルの産卵池の整備、Aゾーン圃場の畦際のカエルの産卵場所の確保及び、ホタルゾーンの木の剪定を行った。



左 Bゾーンカエル産卵池の整備後
中 柳の枝の剪定作業
右 圃場の畦際の産卵場所の土盛り作業

2月15日(土)

暖かい日に恵まれ、この日12名の会員の参加を得て、Bゾーン木道脇の枯草の除去と休耕田の畦道の枯草の除草を行った。また定時観測のニホンアカガエルの卵塊数の調査を実施、一部すでに卵塊が破れオタマジャクシが見られた。昨年より早く孵化した模様。(菌田 廣満)

3～5月の活動予定

- 3月 ● 21日(土) 3月定例活動日(開催未定)
- 4月 ● 中旬 水田準備(畦補修、切り株踏み込み等)
- 18日(土) 4月定例活動、元肥散布
- 5月 ● 初旬 田植え、名戸ヶ谷小児童田植え
- 16日(土) 5月定例活動
- 下旬 田の草取り

詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。



木道脇の枯草の除去作業



カエルの卵塊調査

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス(5番乗り場)「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種(内、千葉県指定保護生物26種)

(2013年、年間を通じて観察した生きものの種類)